



特26

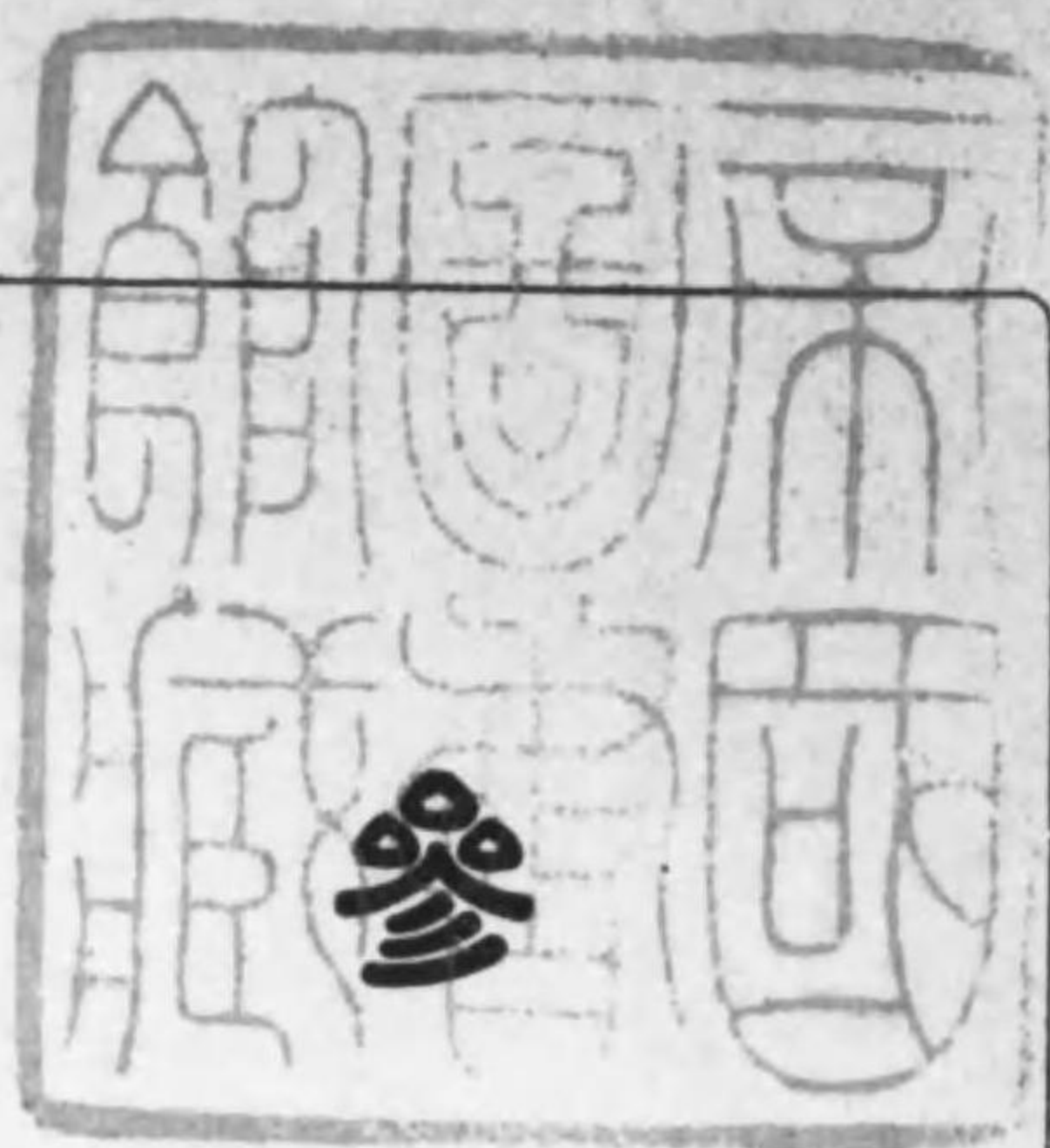
971



始



特265
971



陵
必
携



發刊に就て

近來皇陵巡拜は非常時國家を双肩に雄々しくも奮ひ起つ日本民族の義務として先覺志士の推奨と關係陵墓職員各位の熱心なる指導の賜として、且つは列聖祖宗の専ら蒼生をあわれみ給ひ垂れさせ給ふ御惠を追慕し御仁徳を讃え日本國民に生を受けたる有難き御鴻恩を體得し、益々盡忠報國の至誠を涵養せん爲め巡拜するものなり、併して是が指導の書隨時發行せられ數ふるに違なきも其順路に至れば唯方向のみ、或は距離のみを示して探るべき道を示さず爲めに栞を持って參拜するも初拜者には道を尋ねること一日數十回を算し、時には通行する人なき僻地にて數丁數十丁の迂回も稀にあらず爲めに一日の行程に二日も要する例尠からず、編者又其例に洩れず、辛き經驗あり、茲に本會數回の巡路を基準として取捨編組して本書となす、併し順路は初拜者に便する爲め何人にも判りやすく記したれば

多少廻り道の所もなきに非ず、参拜馴れたる方は自己の信する所を御採用を乞ふ、併して順路は團體を基準とすれば個人参拜には約三分ノ二日位の時間故適宜取捨を要す、且つ淺學菲才加へて皇陵巡拜には新参者にて其任に非ざる編者なれば全力を傾倒し満全を期して脱稿したるも、尙不備誤謬校正の粗漏等も多々あるべしと思料す、希くば天下同憂同好諸賢の御教示を乞ひ版を重ねる毎に完璧を期せんとす。

本書の距離は陸地測量部發行五萬分一地圖を参考として測定算出したれば、方面の下方（ ）内は其使用地圖名、邦里下方の（ ）内の數字は米を示す。

記事中心●を附したる道順は同一地點へ戻ることあるべき地點に付了解せられたし。

昭和九年三月

参陵獎勵會長

南野正一編

御治定御陵府縣別表

府縣	神代陵	歴代天皇陵	歴外天皇陵	皇中宮及三后の御所	五墓	合計
京都府	御數	御數	御數	御數	御數	御數
滋賀縣	三	三	二	一	一	六
奈良縣	三	三	二	一	一	六
大阪府	三	三	二	一	一	六
大坂府	三	三	二	一	一	六
山形縣	三	三	二	一	一	六
山口縣	三	三	二	一	一	六
香川縣	三	三	二	一	一	六
兵庫縣	三	三	二	一	一	六
東京府	三	三	二	一	一	六
和歌山縣	三	三	二	一	一	六
三重縣	三	三	二	一	一	六
鹿兒島縣	三	三	二	一	一	六
合計	三	三	二	一	一	六

備考
 一、御歴代天皇陵の御歴代數より三陵不足なるは重祚の二代「皇極（齊明）天皇、孝謙（稱徳）天皇」及長慶天皇陵（不明）とす
 二、御所在數に於て歴代天皇陵に御合葬又は御同城の歴代天皇陵及皇后陵は歴代天皇陵の内に入る
 三、皇族御墓の内五墓として特筆すべき五皇子陵を含む

歷代御系譜

(御名の下は代數——北朝は北字を附して次序を示す——重祚の天皇は重祚前の帝名の下に(一)を附して書す女帝は○をもつて標す)

神武一——綏靖二——安寧三——懿德四——孝昭五——孝安六——

孝靈七——孝元八——開化九——崇神一〇——垂仁一一——景行一二——

日本武尊——仲哀二四——應神二五——仁德二六——履仲二七——市邊押磐皇子——假豐青尊——仁賢二四——武烈三五——

成務二三——神功皇后——仁德二六——九恭二九——安康三〇——顯宗三三——清寧三三——

推淳毛二派皇子——孝德三六——皇極三五——(○齊明三七)——

舒明三四——天智三八——弘文三九——元明四三——光仁四九——桓武五〇——

敏達三〇——(忍坂彦人大兄皇子)——天武四〇——草壁皇子——元正四四——文武四三——聖武四五——

安閑三三——用明三三——(○推古三三)——崇峻三三——

宣化三六——欽明三九——(○稱德四八)——

孝謙四四——(○稱德四八)——

平城五一——嵯峨五二——仁明五四——文德五五——清和五六——陽成五七——朱雀六一——冷泉六三——花山六五——

嵯峨五二——和五三——光孝五八——宇多五九——醍醐六〇——村上六一——冷泉六三——融六四——一條六六——

後一條六六——後朱雀六九——後堀河八六——四條八七——白河七三——堀河七三——鳥羽七四——近衛七六——崇徳七五——後白河七七——高倉八〇——安徳八一——

土御門八三——後嵯峨八八——後深草八九——伏見九三——後伏見九三——光嚴北一——崇光北三——崇徳七五——後光嚴北四——後圓融北五——

順徳八四——仲恭八五——龜山九〇——後宇多九二——後醍醐九六——後村上九七——後龜山九九——

後小松一〇〇——稱光一〇二——

貞成親王——後花園一〇三——後土御門一〇三——後柏原一〇四——後奈良一〇五——正親町一〇六——(○仁親王)——後陽成一〇七——

後水尾二〇八——(○明正二〇九)——後光明二一〇——後西二二一——靈元二二三——東山二三三——中御門二四四——櫻町二四五——(○後櫻町二七)——桃園二六六——後桃園二八八——仁孝三〇〇——孝明三一一——

明治三三——大正三三——今上三四——

目次

御治定御陵府縣別表……………一

御歷代御系譜……………二

京都東南桃山方面……………一

近衛天皇陵 鳥羽天皇陵 白河天皇陵 後崇光太上天皇陵 光明天皇陵 崇光天皇陵 昭憲皇太后陵 明治天皇陵 桓武天皇陵 仁明天皇陵 深草北陵(後深草天皇陵) 伏見天皇陵 後伏見天皇陵 後小松天皇陵 稱光天皇陵 後土御門天皇陵 後柏原天皇陵 後奈良天皇陵 正親町天皇陵 後陽成天皇陵 後光嚴天皇陵 後圓融天皇陵……………

京都東部泉山方面……………六

崇德中宮聖子陵 仲恭天皇陵 月輪陵(四條天皇陵) 陽光太上天皇陵 後水尾天皇陵 後水尾中宮和子陵 明正天皇陵 後光明天皇陵 後西天皇陵 靈元天皇陵 靈元中宮房子陵 東山天皇陵 東山中宮幸子陵 中御門天皇陵 中御門女御尚子陵 櫻町天皇陵 櫻町女御舍子陵 桃園天皇陵 桃園女御富子陵 後櫻町天皇陵 後桃園天皇陵 後桃園女御維子陵) 後月輪陵(光格天皇陵) 光格中宮欣子內親王陵 仁孝天皇陵 仁孝女御繁子陵……………

京都吉田北野方面……………一一

冷泉天皇陵 陽成天皇陵 後一條天皇陵 章子內親王陵 後二條天皇陵 慶光天皇陵 贈皇太后朝子陵 花山天皇陵 三條天皇陵 二條天皇陵……………

京都東北八瀨方面……………一六

昌子內親王陵 後鳥羽天皇陵 順德天皇陵 高倉中宮德子陵……………

京都御室花園方面……………一八

後朱雀天皇陵 後冷泉天皇陵 後三條天皇陵 禎子內親王陵 一條天皇陵 堀河天皇陵 宇多天皇陵 光孝天皇陵 圓融天皇陵 村上天皇陵 文德天皇陵 待賢門院璋子陵 統子內親王陵……………

京都西北嵯峨方面……………二二

後嵯峨天皇陵 龜山天皇陵 始子內親王陵 嵯峨天皇陵 後宇多天皇陵 京極院倍子陵 後龜山天皇陵 檀林皇后陵……………

京都西北嵯峨方面ノ二……………二五

清和天皇陵

京都西山方面

贈皇太后旅子陵 贈太皇太后新笠陵 淳和天皇陵 桓武皇后乙牟漏陵

京都長岡三島方面

土御門天皇陵 繼體天皇陵

京都府山國方面

光嚴天皇陵 後花園天皇陵

京都山科醍醐方面

天智天皇陵 太皇太后順子陵 醍醐天皇陵 朱雀天皇陵 上醍醐陵 贈皇太后胤子陵

京都府宇治方面

宇治陵 菟道稚郎子尊墓

滋賀縣方面

弘文天皇陵 敏達皇后廣姬陵

奈良縣畝傍山方面

二六

(3)

神武天皇陵 綏靖天皇陵 安寧天皇陵 懿德天皇陵 宣化天皇陵 橘仲姬皇女陵 孝元天皇陵

奈良縣壺坂吉野方面

欽明天皇陵 天武天皇陵 持統天皇陵 文武天皇陵 後醍醐天皇陵

奈良縣奈良市方面

開化天皇陵 光仁天皇陵 春日宮天皇陵 聖武天皇陵 光明皇后陵 元明天皇陵 元正天皇陵

奈良縣西大寺方面

垂仁天皇陵 安康天皇陵 神功皇后陵 垂仁皇后陵 成務天皇陵 稱德天皇陵 平城天皇陵 仁德皇后陵

奈良縣柳本町方面

崇道天皇陵 繼體皇后陵 崇神天皇陵 景行天皇陵

奈良縣櫻井初瀬方面

崇峻天皇陵 舒明天皇陵 贈皇太后椽姬陵

奈良縣王寺町方面

孝靈天皇陵 武烈天皇陵 顯宗天皇陵 飯豐天皇陵

奈良縣御所町方面

五三

(4)

二八

三七

三五

三二

三一

二九

四三

四一

四六

四九

五一

五三

五五

岡宮天皇陵 齊明天皇陵 孝德皇后陵 孝安天皇陵 孝昭天皇陵

大阪府古市方面 五八

九恭天皇陵 應神皇后陵 應神天皇陵 安閑天皇陵 安閑皇后陵 清寧天皇陵 仁賢天皇陵 仲哀天皇陵 雄

略天皇陵 六二

大阪磯長觀心寺方面 六二

孝德天皇陵 推古天皇陵 用明天皇陵 聖德太子墓 敏達天皇陵 欽明皇后陵 後村上天皇陵

大阪府堺淡輪方面 六五

反正天皇陵 仁德天皇陵 履中天皇陵 五十瓊敷入彦命墓

山口縣下關市方面 六七

安德天皇陵

香川縣北部方面 六八

崇德天皇陵

兵庫縣淡路方面 六九

淳仁天皇陵 淳仁天皇御母墓

東京府淺川方面 七一

大正天皇陵

高野山五條方面 七二

井上內親王陵 美福門院得子陵

三重縣能褒野方面 七四

日本武尊墓

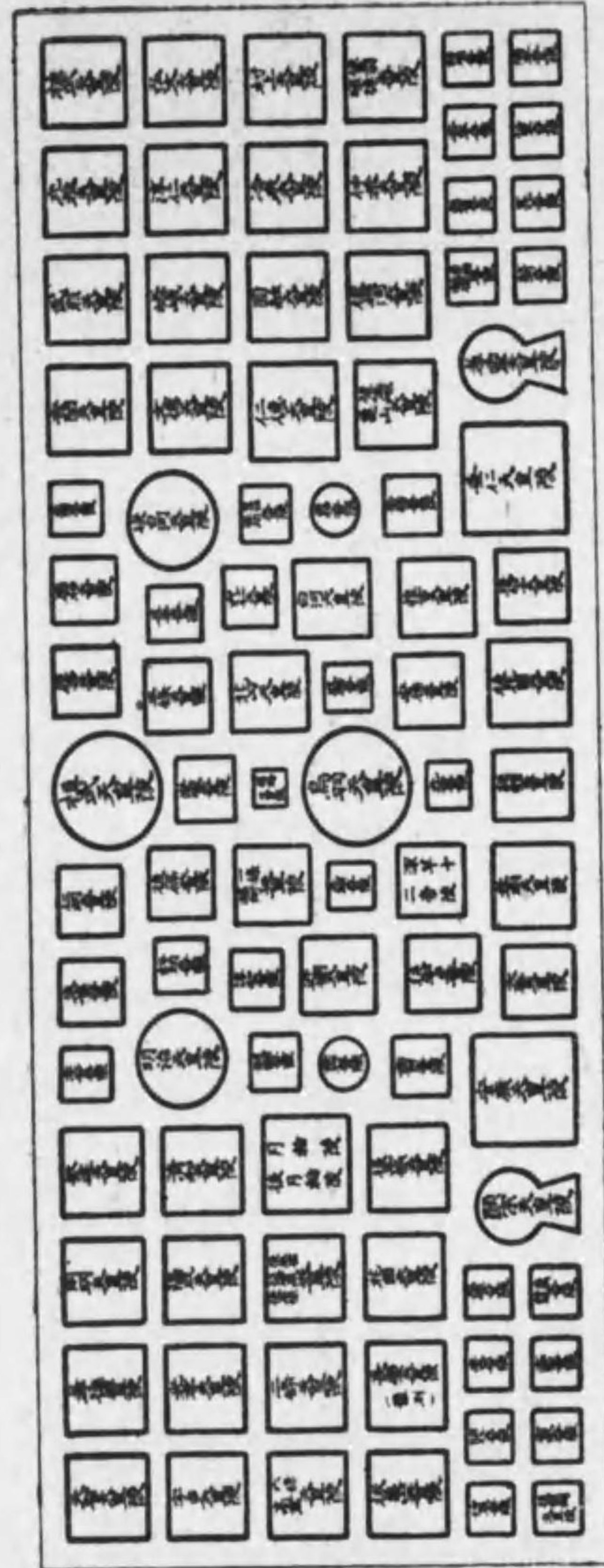
兵庫縣加古川方面 七五

景行皇后陵

鹿兒島南部三陵方面 七六

瓊瓊杵尊陵 鸕鷀草葺不合尊陵 彥火火出見尊陵

額 面 用 皇 陵 記 念 譜



送料 (書留小包 貳拾五錢)

紙本 壹圓五拾錢
 絹本 貳圓貳拾錢
 末尾各特約
 店にあり

京都東南桃山方面

(京都東南部)

参拜巡路

此方面へは京都より市電伏見線城南宮下車、北向不動明王の標石ある所を右に取りて道に従つて北へ回り約百米餘にて道左に岐れたる所左(西)へ折れ、奈良電車驛の南を西へ約百米にて安樂壽院門前に達す門を入りて左側陵道あり。大阪よりは京阪中書島乗換へ市電にて前に同じ、奈良電は城南宮前下車西へすぐ。

第七十六代 近衛天皇 安樂壽院 南 陵

(京都市伏見區竹田内畑町)

次の安樂壽院陵へは西北約一丁(二〇〇)陵道を出でて、左(西)へ行けば約百米にて右側に冠石あり夫より北に通ずる道、北行西側

第七十四代 鳥羽天皇 安樂壽院 陵

(京都市伏見區竹田内畑町)

次の成菩提院陵へは西南約二丁半(三〇〇)元の冠石前の岐路を右(西)へ、北向不動明王の堂

前より西門に出で行けば丁字路あり、左(南)へ行けば道の西側

第七十二代 白河天皇成菩提院陵

(京都市伏見區竹田番菩提院町)

次の伏見松林院へは途中電車を除き約十丁(一、二〇〇)即ち元へ戻り奈良電車にて桃山御陵前驛下車、驛前東西に通ずる道を西へ京阪電車伏見桃山驛北端を西へ、踏切り二つ目の街角を南へ四百米路傍西側、市電利用者は京橋停留所下車川添を東へ約四百米

後伏見天皇々玄孫 後崇光太上天皇伏見松林院陵

(京都市伏見區新町一丁目)

次の大光明寺陵へは東約十二丁(一、三〇〇)陵の北側の街路を(右)東へ、京阪線奈良電線を越えて東行、工兵第十六大隊の南を東へ塀に添ひて廻り東南角より北へ約二百五十米位にて丁字路に至る、東(右)に折れ鐵道奈良線南側を東へ右側に陵道あり、陵道二百米

北朝二代 光明天皇
北朝三代 崇光天皇
大光明寺陵

(京都市伏見區桃山町)

次の伏見桃山東陵へは東北約十五丁(一、七〇〇)陵道を出で、元へ約二百米戻れば丁字路あり、

右手に省線桃山驛見ゆ従つて右へ驛前を西北へ行けば伏見桃山陵參道に合す、従つて東北行二百五十米位にて紀念碑前にて二岐する道を右へ二百五十米、乃木神社參道あり、參拜後尙その道を東へ七百五十米陵道に達す

明治天皇皇后 昭憲皇太后伏見桃山東陵

(京都市伏見區桃山町)

次の伏見桃山陵へは西北約二丁(二五〇)元へ陵道を戻れば、西北へ山麓を廻る道あり、従つて昇れば參道石階の九合目程に合す

第一百二十二代 明治天皇伏見桃山陵

(京都市伏見區桃山町)

次の柏原陵へは西北約九丁(一、〇〇〇)陵前を西へ勤番所前を西南へ五百米路傍右側に「桓武天皇柏原陵參道」の標石ある所北(右)折約五百米路傍右側

第五十代 桓武天皇柏原陵

(京都市伏見區桃山町)

次の深草陵へは東北約二十五丁(二、八〇〇)陵前を西へ下ること三百米位十字路あり、北へ折れ鐵道線を越えて千米歩兵九聯隊の南門の處東折、二百米鐵道の手前にて南北に通ずる道

に合す、北折二百米線路の上の橋を越え線路に添ひて天理教會前を北行、二百五十米丁字路を東へ初めの辻を北へ三百米にて東西の廣街に達す、これ深草より勸修寺醍醐に通ずる街道なり従つて東行三百米谷口町西端標石ある所人家の間を北行二百米西側に陵道あり

(4)

第五十四代
仁明天皇深草陵

(京都市伏見區深草東伊達町)

次の深草北陵へは西北約五丁(五〇〇)陵道を元へ戻り北折陵の東より北へ廻り西行すれば舊東海道線の堤防あり、夫を北へ一直線陵前に達す

深草北陵

(京都市伏見區深草僧坊町)

第八十九代後深草天皇 第九十二代伏見天皇 第九十三代後伏見天皇 第一百代後小松天皇
第一百一代稱光天皇 第一百三代後土御門天皇 第一百四代後柏原天皇 第一百五代後奈良天皇
第一百六代正親町天皇 第一百七代後陽成天皇 北朝第四代後光嚴天皇 北朝第五代後圓融天皇

以上

十二天皇陵御一兆に付一名深草十二帝陵と稱し奉る

—— 附近名所 ——

稻荷神社 乃木神社 御香宮 荷田春滿舊邸 東丸神社 城南宮 藤森神社
雀のお宿 觀月橋 寺田屋騷動碑

京都東部泉山方面

(京都東南東北部)

(6)

参拜順路

此方面へは市内は市電。亦はバス東福寺下車、他方は京阪東福寺下車、何れも東福寺本堂を目標にして本堂東南端標石ある所山上へ上れば一直線各下車點より約九丁(二、〇〇〇)

景徳天皇中宮つきののみなみののみさきぎ子月輪南陵

(京都市伏見區深草本寺山)

次の九條陵へは東へ約一丁(二〇〇)

第八十五代くでうのみさきぎ仲恭天皇九條陵

(京都市伏見區深草本寺山)

次の月輪陵へは東北約十丁(二、二〇〇)陵道を元へ陵下曲角墓地の所東に岐れたる小徑箆中を東に通ず、従つて東行百米畑中に塚のある所、又北へ通ずる小徑を行けば五社稻荷に出づ、境内を通り抜け北にとれば東西の街道に合す、西へ山腹を廻れば谷合にて道直角に曲る所直ぐ山上に通ずる細道あり、従つて登れば二百米位にて皇族御墓の前に達す、夫より西北

に少し行きたる所泉涌寺山門が右手にあり、入りて坂を下り佛殿の南側池との間を東行右に廻れば陵前に達す

つきののみさきぎのちのつきののみさきぎ
月輪陵後月輪陵

(京都市東山区今熊野字泉山)

當陵は第八十七代四條天皇陵に始まり後、三百四十年陽光太上天皇を此に葬り奉り、尋で同天皇妃の御墓を營みてより孝明天皇御母の奉葬に至る實に三百二十餘年間の二十五陵、五灰塚、九墓を以て一兆となす

- | | | | |
|------------|--------------|-------------|-------------|
| 第八十七代四條天皇 | 正親町帝皇子陽光太上天皇 | 第八十八代後水尾天皇 | 後水尾中宮和子 |
| 第九十九代明正天皇 | 第一百十代後光明天皇 | 第一百十一代後西天皇 | 第一百十二代靈元天皇 |
| 靈元帝中宮房子 | 第一百十三代東山天皇 | 東山帝中宮幸子 | 第一百十四代中御門天皇 |
| 中御門帝女御尙子 | 第一百十五代櫻町天皇 | 櫻町帝女御皇太后舍子 | 第一百十六代桃園天皇 |
| 桃園帝女御富子 | 第一百十七代後櫻町天皇 | 第一百十八代後桃園天皇 | 後桃園帝女御維子 |
| 以上二十陵を月輪陵 | | | |
| 第一百十九代光格天皇 | 光格帝中宮欽子内親王 | 第一百二十代仁孝天皇 | 仁孝帝女御繁子 |
| 仁孝帝女御祺子 | 以上五陵と | 陽光太上天皇妃藤原晴子 | 後陽成院女御藤原前子 |

(7)

後水尾院典侍藤原光子 同 藤原隆子 同 藤原基子 仁孝帝典侍藤原雅子
光格天皇々子温仁親王 同 悅仁親王 仁孝天皇皇子安仁親王の御九墓
後土御門 後柏原 後奈良 正親町 後陽成天皇の五御灰塚を一兆とす

次の観音寺陵へは元へ戻り佛殿の北方●見張所の北側を東に通ずる参道あり東行百米餘路
傍北側に陵道あり

第八十六代
後堀河天皇 觀音寺陵

(京都市東山區今熊野字泉山)

次の後月輪東山陵へは陵下の参道を東南へすぐ

第一百二十一代
孝明天皇 後月輪東山陵
同皇后 英照皇太后 後月輪東北陵

(京都市東山區今熊野字泉山)

次の鳥戸野陵へは西北約五丁(五〇)陵道を元へ戻り●見張所北側生垣の間來迎堂参拜道の
標石ある所細流に添ひて北へ下り細流に架せる橋を渡りて北行すれば西國靈場今熊野觀音
寺に至る、裏門へ抜けて藪中を少し北西へ下れば丁字路あり、北(右)へ行けば路傍東側

一條天皇々后
定 子鳥戸野陵

(京都市東山區今熊野字泉山)

次の中尾陵へは西北約五丁(五〇)陵道を下り元の道を北へ行けば細流に架せる橋あり、渡
りて西北に上れば劍神社あり、境内を通り抜け北へ行けば東西に通ずる道あり、西へ折れ
て初めての辻より北へすぐ陵前に達す

仁明天皇女御
贈皇太后 澤子中尾陵

(京都市東山區今熊野實藏町)

次の法住寺陵へは西北約九丁(二、〇〇〇)陵の北側に東西に通ずる道路あり、西へ行けば自と
東山通(電車通)に至る、是れを北へ東海道線の上を渡りて二つ目の辻(西側のみ)を西へ約
百米餘にて右側に山門あり、之れ三十三間堂の山門なり入りて約百歩位北に行けば東側、
寺と寺との間に標石及参道あり

第七十七代
後白河天皇 法住寺陵

(京都市東山區三十三間堂廻り町)

次の清閑寺陵へは東北約十三丁半(二、五〇〇)陵道を戻りて三十三間堂前を北へ七條通(電車
道を東へ智積院前にて東山通を北へ五六十歩にて新日吉神社及豊國廟の参道あり、新日吉

神社の方(東)に向て行けば左側に京都女學校門あり、其東側の道を北に折れて行けば東西に通ずる廣い街道に合す、澁谷越山科街道なり、従つて東へ小松御坊の北を東行約七百米位にて北側に標石あり、石階數段上りて上の横道を西に行けば數十歩にて逆に岐れたる道あり、歌中山清閑寺の標石ある所山上へ上れば陵前に達す

(10)

第七十九代
六條天皇清閑寺陵
第八十代
高倉天皇後清閑寺陵

(京都市東山区清閑寺歌の中山)

次の十樂院上陵へは西北約二十五丁(二、八〇〇)陵下の岐れ道を西北へ約七百米にて新高尾に出づ、左に子安塔を眺め音羽瀧より清水寺を參拜し山門前を西へ約二百米四辻あり、右へ産寧坂を下りて高臺寺の手前より右山上へ維新の元勳木戸孝允の墓及招魂社に詣で高臺寺より祇園閣を左に見て圓山公園の櫻の東側を北へ、知恩院山門前を北へ路傍東側に石階十五段の上に御門あり

第九十五代
花園天皇十樂院上陵

(京都市東山区粟田口三條坊町)

次の粟田山陵へは東北約十三丁半(一、五〇〇)即ち陵道を下り門下の道を北へ行けば電車通りに至る、京阪京津線なり、尙北へ百五十米十字路に達すこれを東へ百米にて路二岐する所左へとりて東へ一直線に行けば市電南禪寺停留所に出づ、それよりインクラインの上の橋を渡り東へ南禪寺山門に向ひ門の南の道を東へ行けば路の南側に御陵の制札あり、南へ行き石段を上れば南禪寺唐門の前に達す、夫より右に鐘樓の傍を南へ參道あり

後醍醐天皇々后
大宮院姞子粟田山陵

(京都市左京區南禪寺福地町)

次へ參拜の方は冷泉天皇陵又は天智天皇陵へ歸途は元へ戻り市電にて

附 近 名 所

東福寺 通天橋の紅葉 新那智山觀音寺 泉涌寺 三十三間堂 恩賜博物館 豐國神社 大佛
妙法院 智積院 大閻廟 清閑寺 清水寺 圓山公園 知恩院 八阪神社 夢浮橋 耳塚
泰產堂 新高雄 高臺寺 靈山招魂社 東大谷

(11)

京都吉田北野方面

(京都東北及び西北部)

(12)

参拜順路 京都市電東天王町下車東北へ九丁(二、〇〇〇)停留所より、東行三百米、丁字路を北へ三百米二岐する所右へ行けばすぐ京都疏水支流堤に出づ従つて北へ約三百米橋向に御鳥居を拜す

第六十三代 冷泉天皇 櫻本陵

(京都市左京區鹿ヶ谷法然院町)

次の神樂岡東陵は西方に望む森、吉田山麓にあり、目標に西へ行けば路丁字形をなす、左へ百米にして亦右へすぐ左へ田甫の間を西へ約四百米突當りを左へ眞如堂につきて、前に廻り堂前の辻を西へ道路の右側前陵より總て七丁(八〇〇)

第五十七代 陽成天皇 神樂岡東陵

(京都市左京區淨土寺眞如町)

次の菩提樹院陵へは陵前を西へ突當りを右へ約百米道路の左側、前陵より二丁弱(二〇〇)

第六十八代 後一條天皇 菩提樹院陵
後冷泉天皇中宮 皇子内親王 菩提樹院陵

(京都市左京區吉田神樂岡町)

次の北白河陵へは陵前の道を北へ三百五十米にして人字形の辻あり、左へ山に添ひて四百五十米位にて電車通りに出づ、従つて西へ二百米北側

第九十四代 後二條天皇 北白河陵

(京都市左京區北白河退分町)

次の盧山寺陵へは西南へ約十七丁(二、九〇〇)或は市電にて寺町今出川に至り南へ約二丁半(三〇〇)道路東側盧山寺境内にあり

東山天皇々孫 慶光天皇 盧山寺陵

(京都市上京區北の邊町)

次の般舟院陵へは寺町通りを北へ今出川に出で、寺町今出川より電車にて今出川千本下車約百米程後戻りすれば北側に陵道あり

後土御門天皇 贈皇太后朝子 般舟院陵

(京都市上京區今出川千本東入般舟院前町)

(13)

次の紙屋上陵へは陵前の電車道を西へ、千本今出川交叉點を眞すぐに西へ六百米にて北野神社東門に出づ、官幣中社なり、參拜して北門より出で西へ紙屋川を渡り西岸を北へ、或は直に官幣大社平野神社に參拜して鳥居前を北へ始めての十字路を右へ百米弱にて道の左側陵道に達す

(14)

第六十五代
花山天皇紙屋上陵

(京都市上京區衣笠北道町)

次の北山陵へは西北六丁弱(六五〇)陵御拜所の前を生垣に添ひて西北に廻り、人家の間を西へ百米足らずにて平野通に出づ、從つて右へ二百米にて丁字路あり、左へ百五十米位にて丁字路あり、北へ向けば直ぐ北に御鳥居を拜す

第六十七代
三條天皇北山陵

(京都市上京區衣笠殿町)

次の陵へは西南十四丁(一、六〇〇)陵前の道を谷に添ひて南へ三百米廣街に合す、◎右に見ゆるは金閣寺なり、觀光をすまし◎元の辻より南へ細路あり、二百米にして廣道に出づ、東へ極少しにして南に見ゆる森の東側を南に通ずる細路あり、行三百米にて廣い道に出づ、

西へ百米松樹ある街角を南へ平野神社の西邊を南に行けば丁字路あり、右へ約二百米陵道に達す

第七十八代
二條天皇香隆寺

(京都市上京區平野八町柳町)

次は京都御室花園方面へ續く、歸りは市電北野終點又は嵐電北野線小松原へ

—— 附近名所 ——

銀閣寺 眞如堂 吉田神社 京都帝國大學 梨木神社 護王神社 京都御所 白峯宮
建勳神社 北野天滿宮 平野神社 金閣寺

(15)

京都東北八瀬方面

(京都東北部)

参拜順路

此方面参拜には市電にて河原町今出川に、又は東今出川川端下車叡鐵出町柳に至り、叡鐵に乗り「やまばな」にて鞍馬電鐵と乗りかへ岩倉にて下車、驛の東方南北に通ずる道を北へ約三百米廣街に出づ、従つて西へ百米餘りにて北に向ひ五百米又西に向ひ三百米にて實相院前に至る、之より道稍々細く西北に通ず約二百米陵道に達す、道路右側

冷泉天皇々后
昌子内親王岩倉陵

(京都府愛宕郡岩倉村岩倉)

次の大原陵へは電車にて元へ山端迄戻り、乗換八瀬に下車、乗合自動車にて大原に下車、途中乗合及電車を除き約十三丁半(一、五〇〇)即ち大原終點は大長瀬邑にあり、其北に二岐する道右魚山、左敦賀街道の標石ある所右へ山麓を約六百米にして小さい石橋あり、魚山橋と云ふを渡りて約百米餘三千院の門前に達す、それを北へ少し行けばすぐ陵道あり

第八十二代
後鳥羽天皇
第八十四代
順德天皇
大原陵

(京都府愛宕郡大原村大字大原)

次の大原西陵へは元へ戻り魚山橋の北詰より小谷に添ひて西へ(五百米)敦賀街道に達す、従つて北へ約二百五十米西側に學校あり、其北に右寂光院左魚山京道の標石あり、南行する者の道標なり、街道を左へ廻り西南行すること三百米、道二岐す右寂光院の標石ある所従つて西行(右)七百米、陵下に達す、前陵より全て十六丁弱(一、七五〇)

高倉天皇中宮おほはらのにしのみさきぎ
德子大原西陵

(京都府愛宕郡大原村大字大原)

大長瀬乗合自動車終點まで東南約十六丁(一、七五〇)

附近名所

修學院離宮 岩倉公舊蹟 八瀬遊園地 三千院 寂光院 叡山 三宅八幡宮 松ヶ崎大黒天
貴船神社 鞍馬山

京都御室花園方面

(京都西北部)

(18)

参拜順路 此方面へは市電にて北野終點下車、嵐電北野線に依りて龍安寺下車、驛西端南北に通ずる道を北へ約三百米にて丁字路に達す夫より西百五十米路傍に後朱雀、後冷泉、後三條一條、堀河五天皇陵参拜道の標石ある所、右(北)山上へ二百米にして龍安寺の山門前に達す、門内の池の北側に見ゆるは龍安寺なり、其西側に御紋章入の御門あり入りて行數十歩陵前に達す

第六十九代 後朱雀天皇 圓乘寺陵

第七十代 後冷泉天皇 圓教寺陵

第七十一代 後三條天皇 圓宗寺陵

次

の陵へは陵前を東へ約一丁(百米)弱

(京都市右京區龍安寺朱山)

後朱雀天皇々后 禎子内親王 圓乘寺東陵

(京都市右京區龍安寺朱山)

次

の圓乘寺北陵へは陵前細流に添ひて山上へ幾曲折約二丁半(300)

第六十六代 一條天皇 圓乘寺北陵

第七十三代 堀河天皇 後圓教寺陵

(京都市右京區龍安寺朱山)

次の大内山陵へは陵御拜所を西へ圓融帝火葬塚の前を通りて 左に廻り後背より左に岐れ東に金閣寺蓮華谷を眼下に眺め山を昇り、山尾傳ひに越え行けば最も近し、程經て右眼下に大内山陵を拜するを得、陵の前方を横ぎり西に廻れば参道に出づ、前陵より全十丁(100)

第五十九代 宇多天皇 大内山陵

(京都市右京區鳴瀨宇多野谷)

次の後田邑陵へは西南十三丁半(1,500)陵道を南へ新道に従つて山を下れば仁和寺裏北西隅池の端に出づ、同寺参拜後同門前の道路を西へ三百米、南側に光孝天皇陵参道の標石あり、左へ約三百米陵の西側を廻りて南より参道あり

(19)

第五十八代 のちのむらたらのみささぎ
光孝天皇後田邑陵

(京都市右京区宇多野馬場町)

次の後村上陵へは西北約二丁餘(三〇〇)元の標石ある廣街に戻り西へ百米餘にして福王子神社前に達す、路四つに岐る最も右の路を神社に添ひ北へ百米餘、道路左側

第六十四代 のちのむらたらのみささぎ
圓融天皇後村上陵

(京都市右京区鳴瀬宇多野谷)

次の村上陵へは陵前の道路を北へ約三丁(三三〇)山上

第六十二代 むらたらのみささぎ
村上天皇村上陵

(京都市右京区鳴瀬宇多野谷)

次の田邑陵へは西南約十五丁半(一、七五〇)即ち福王子神社迄元へ戻り直ぐに南へ二百米、嵐電北野線を越して二百米路丁字形をなす、西へとり百米位にて又踏切あり之を越して四百米路傍右側に陵道あり、行百米

第五十五代 むらたらのみささぎ
文德天皇田邑陵

(京都市右京区太秦三尾町)

次の花園西陵へは總て十六丁(一、八〇〇)即ち路を元へ戻り約六百米左側に池あり、その南を

通り東、後田邑陵を左に雙岡の北麓を東行すれば丁字路に達す右に折れて約五百米丁字路あり路傍南側人家の南にあり

鳥羽院中宮
待賢門院璋子花園西陵

(京都市右京区花園扇野町)

次の花園東陵へは陵下の路を東へ行けば自然に南に曲る村社今宮神社前路の西側前陵より約二丁(二五〇)

二條天皇准母
統子内親王花園東陵

(京都市右京区花園寺之内町)

次は京都西北嵯峨方面に、又は歸りは鐵道花園驛、或は嵐電

—— 附近名所 ——

龍安寺 等持院 仁和寺 妙心寺 香隆寺

京都西北嵯峨方面

(京都西北部)

(22)

参拜順路

此方面は京都よりは嵐山線四條大宮より嵐山下車、驛前南北に通ずる街路を右(北)へ百米にて西側天龍寺總門前に至る、入りて西行約二百米庫裡の前北向すれば高麗門あり大阪方面は京阪嵐山下車、中の島を通り渡月橋を渡り嵐山驛前を北へ鐵道は嵯峨驛下車を便とす

第八十八代
後嵯峨天皇さかのみなみのみかど
第九十代
龜山天皇かみやまのみかど
龜山かみやま山みやま陵

(京都市右京區嵯峨天龍寺芒ノ馬場町)

次の今林陵へは東北へ約十丁(一、二〇〇)元へ戻り門前の街道を北へ釋迦堂に突當り同門前を東(右)へ愛宕山電鐵を越えれば左側に今林陵參道の標石あり、從つて左(北)へ二百米路傍東側

後宇多天皇皇后いまはやしのみささぎ
始子内親王今林陵

(京都市右京區北嵯峨大覺寺門前六道町)

次の嵯峨山上陵へは西北約六丁(七〇〇)陵の西、南北の道へ戻り北へ三百米東西に通ずる道に合す、從つて東へ約五十米にて田間北に通ずる小徑あり、從つて北へ行四百米陵道に達す、陵道山上へ約七百米

第五十二代
嵯峨天皇さかのみやまのみかど
嵯峨山上陵

(京都市右京區嵯峨朝原山町)

次の蓮華峯寺陵へは東七丁半(八〇〇)陵道を下りたる所より人家の後背を田間に極細道あり東へ人家及藪中を通ず約六百米にて街道の曲り角に合す、これ北嵯峨より長刀阪を越え梅ヶ畑に通ずる道、從つて東北へ二百米、路傍左側

第九十一代
後宇多天皇れんげふじのみささぎ
龜山天皇皇后
京極院きんごく信子のぶこ蓮華峯寺陵

(京都市右京區嵯峨長刀阪町)

次の嵯峨小倉陵へは西南約二十一丁半(二、四〇〇)即ち陵前の道を元へ廣きに從つて戻り、四百米にて道二岐する處西へ四百米十字路に至れば南に大覺寺の大堂塔を見る、南に取れば

(23)

約三百米にて東西に通ずる道に合す、従つて西へ三百米足らずにて先程通りたる道に合す
従つて南へ約二百米にて二岐する處西へ七百五十米にて西北に通ずる街道に合す、之れ嵯
峨清瀧を繋ぐ街道なり、逆に左(南)へ百五十米位にて路傍西側に陵道あり

第九十九代
後龜山天皇嵯峨小倉陵

(京都市右京區嵯峨鳥居本小坂町)

次の嵯峨陵へは西北約十丁半(一、二五〇)即ち陵東の街道に従つて西北へ愛宕神社一の鳥居に
至り、同鳥居の手前より左へ山間に通ずる徑あり、従つて五百米路傍右側に陵道あり約四
百米

嵯峨帝后
壇林皇后嘉智子嵯峨陵

(京都市右京區嵯峨鳥居本深谷町)

次は嵯峨方面の二或は歸途は元へ戻り愛宕電鐵鳥居本へ

—— 附 近 名 所 ——

嵐山 釋迦堂 廣澤池 天龍寺 大覺寺 野々宮 小倉山二尊院 龜山公園 中ノ島公園

京都西北嵯峨方面ノ二

(京都西北部)

参拜順路

此方面へは京都市内は四條大宮及北野より嵐山電車及愛宕山上連絡往復切符を求めケ
ブル終點下車、驛前より西へ遊園地の下方中復を三百米餘にて愛宕神社参拜の街道に合
す、それより左(下)へ數十歩にて清和天皇水尾山陵参道の道標ある所右へ愛宕街道を分
れて山下に通ずる細道あり、急峻二千米、亦一方は嵯峨鳥居本より嵯峨陵へ参拜の道を
探り尙同陵より山上へ屈曲して下六丁峠を越し落合に出で、夫より保津河の急流に沿ひ
て溯り兩岸の風光を讚へつ、参拜するも意義ある事、此行程鳥居本より總て一里十七丁
(六、二〇〇)但し道は樂な平坦道多ければ時間に大差なし後者は鳥居本
往復を求む

第五十六代
清和天皇水尾山陵

(京都市右京區嵯峨水尾清和)

—— 附 近 名 所 ——

愛宕神社 保津川 落合 清瀧 空也瀧

京都西山方面

(京都西南部)

参拜順路

此方面参拜には京都市内よりは七條大宮京都乗合自動車にて中山に至り、宇波多陵より亦は鐵道東海道本線向日町、或は京阪新京阪線東向日町驛下車高島陵より参拜するも可大阪方面よりは京阪新京阪線及鐵道東海道本線利用下車驛は先に同じ(本記事は京都よりの分)中山下車後陵道迄全四丁半(五〇〇)道路北側淳和天皇御母宇波多陵の標石ある所、北へ人家の間を約二百五十米道二岐する所◎北へ約二百五十米陵道に達す

桓武天皇夫人
贈皇太后旅子宇波多陵

(京都府乙訓郡大枝村大字塚原)

次の大枝陵へは約十五丁(一、七〇〇)即ち前の◎辻へ戻り西へ二百米にして塚原村落に入る、人家の間役場學校の前を通りて始めの分岐點より三百米にて街道に合す、これ京都より龜岡方面に至る山陰街道なり、従つて西北へ千四百米沓掛村に至る村の中程北側に陵道あり

光仁夫人
贈皇太后新笠大枝陵

(京都府乙訓郡大枝村沓掛)

次の大原野西嶺上陵へは西南一里八丁(四、九〇〇)元の山陰街道を戻ること二百米にして道路の南側に南行の道路あり、従つて七百米岡新田邑に達す、夫より千丈邑の北端にて西岐する道を取り野田邑を通り南端路二岐する所南へ約二百米十字路に達す、尙南へ四百米にて官幣中社大原野神社の社前に達す、尙南へ約二百米鳥居を出で、◎西北へ二百米花の寺の門下にて左へ小徑あり、段々になれる山田の間を傳ひ登る従つて山背急峻二千三百米小鹽山の頂にあり、標高六百三十九米

第五十三代
淳和天皇大原野西嶺上陵

(京都府乙訓郡大原野村大字大原野)

次の高島陵へは東南一里十三丁半(五、五〇〇)即ち山道を下り大原野神社の鳥居前迄戻り、夫より廣街西山街道に添ひて下ノ篠灰方邑を通り東行字ノ山邑より石見上里邑に至る、邑の東小島川を互り四百米十字路に達す、東行百五十米、二岐する所迄大原より此間乗合自動車及乗合馬車あり、北東へ三百五十米路傍西側

桓武天皇皇后たかはたけのみさき
乙牟漏高島陵

(京都府乙訓郡向日町大字寺戸)

—— 附近名所 ——

大原野神社 善峯寺 小鹽山 花の寺 松尾神社

京都長岡三島方面

(京都西南部)

参拜順路

此方面参拜には京都方面は京阪新京阪線長岡天神驛下車、鐵道東海道本線神足下車、金原陵より参拜を便とす、大阪方面は電車天神橋より富田町下車、或は鐵道攝津富田驛下車、三島藍野陵より逆順拜を便とす

長岡天神驛下車、驛前南北に通ずる道を線路沿ひに南下し東西に通ずる道に合したる所西行長岡天神前にて南北に通ずる道に合す、従つて南行長岡競馬場西方の十字路より西へ下海印寺邑西端にて標石ある所道二岐す、左にとり田間及山籠を四百五十米位にて金原邑に達す、前面民居數軒並ぶ間を西行、家のはづれに左側に標石ある所左阜上二百米餘

第八十三代
土御門天皇かねがはらのみさき金原陵

(京都市乙訓郡海印寺村金原)

次の三島藍野陵へは元の驛へ戻り攝津富田驛(鐵道)富田町(京阪)下車、鐵道は南、電車は北へ何れも百米餘にて丁字形の點に會す、之を西へ行き南北に通ずる廣街に合す、それよ

り東海道線下を通り數十歩にて左に岐れたる小徑あり、従つて西北に十六丁(二、八〇〇)廣い街道に合す、西國街道なり、従つて西北に行けばすぐ路の右側

第二十六代
みしまのあゐねのみささぎ
繼體天皇三島藍野陵

(大阪府三島郡三島村太田)

—— 附 近 名 所 ——

天王山 水無瀬宮 長岡天神 粟生光明寺 楊谷寺 櫻井驛 惣持寺

京都府山國方面

(京都四ツ谷)

参拜順路 此方面は鐵道は省線山陰線殿田驛下車、東北七里乗合自動車あり、普通は京都北野より乗合自動車を利用するを便とす、何れも陵の直ぐ下迄自動車にて行き得

北朝第一代
やまぐにのみささぎ
光嚴天皇山國陵
第百二代
のちのやまぐにのみささぎ
後花園天皇後山國陵
後土御門天皇分骨所

(京都府北桑田郡山國村大字井戸)

—— 附 近 名 所 ——

常照寺 高雄山 榎尾山 榎尾山等の紅葉 神護寺 周山

京都山科醍醐方面

(京都東南部)

参拜順路 此方面は三條より京阪京津線に乗りて御陵下車、或は東海道本線山科驛下車、或は京都以南は京阪深草停留所下車、乗合にて逆に参拜も可今は御陵より下車、驛前東南に通ずる街道を従つて二百五十米左側に巡查派出所ある所北に向つて陵道あり

第三十八代 やましののみさぎ
天智天皇山科陵

(京都市東山区山科御陵上御廟野町)

次の後山階陵へは東北二十四丁半(二、七〇〇)陵前の街道を東へ千百米山科驛前より尙東へ二百米毘沙門天王の標石あり道北に岐る、安祥寺及毘沙門道なり、従つて北行千米毘沙門堂の門下石橋を渡れば細流に沿ひて道西北に通ず行四百米亦二つに分る、右へ流に従つて行けばすぐ

仁明天皇女御 のちのやましののみさぎ
太皇太后順子後山階陵

(京都市東山区山科御陵澤ノ川町)

次の後山科陵へは元へ戻り山科驛前より乗合自動車あり、途中乗物を除き南約十八丁(二、〇〇〇)自動車は皇陵参拜を告げなば陵の手前にて下車出来る、下車田間の道を東へ四百米左に折れて百米陵道あり

第六十代 のちのやましののみさぎ
醍醐天皇後山科陵

(京都市伏見区醍醐古道町)

次の醍醐陵へは東南五丁半(六〇〇)陵道を出で元の辻へ戻り、尙東へ百米餘丁字形の所南へ民居の間を通り下れば路傍東側に陵道あり

第六十一代 だいののみさぎ
朱雀天皇醍醐陵

(京都市伏見区醍醐御陵東裏町)

次の上醍醐陵へは東南約三十二丁(三、六〇〇)陵道に戻り南北の道を南へ二百米左に山門、夫より山上へ急坂を上る標高四百五十米山嶺開山堂の東南傍

白河天皇中宮 かみのだいののみさぎ
皇太后賢子上醍醐陵

堀川天皇准母

皇太后賢子上醍醐陵

皇太后令子内親王上醍醐陵

(京都市伏見区醍醐上醍醐)

次の小野陵へは西北約一里二十三丁(五、七〇〇)山下奈良街道に戻り(乗合あり)従つて北へ小野より西へ深草行街道を西へ勸修寺を通り中茶屋西端北側に陵道あり

宇多天皇女御
贈皇太后胤子小野陵

(京都市東山區山科勸修寺北大日町)

(34)

京阪電車師團前へは西南二十三丁半(二、六〇〇)

—— 附 近 名 所 ——

醍醐寺 三寶院 勸修寺 大石神社 岩屋寺

京都府宇治方面

(京都東南部)

参拜順路 此方面へは鐵道奈良線木幡驛下車、東南約二丁(二〇〇)又は京阪電車宇治線木幡停留所下車、東南約六丁(六五〇)即ち停留所前の道路を東へ約百米餘にて南北に通ずる街道に合す是れ奈良街道なり、従つて南へ三百米木幡南端路傍に宇治陵参拜道の標石ある所東行二百米

宇治陵

(京都府宇治郡宇治村木幡)

抑々宇治陵は其地域非常に宏大にして二山一谷及其周圍曠野を籠め南北十餘町東西七八町、延喜諸陵式、文徳天皇外祖贈太政大臣藤原冬嗣の墓域方十四町と載する處にして、以下十七陵、三墓及二百餘の古塚を含み一巡路實に一里十七町、千八百二十餘米に及ぶと

宇多院中宮温子 醍醐帝中宮穩子 村上帝中宮安子 贈皇太后冷泉院女御懷子 贈皇太后冷泉院女御超子
圓融院中宮煌子 圓融院皇后遵子 皇太后圓融院女御詮子 一條院中宮彰子 三條院中宮妍子 三條院皇后

(35)

賊子 後一條院皇后威子 贈皇太后後朱雀院女御嬪子 後冷泉院皇后寛子 後冷泉院皇后歡子 贈皇太后後三條院女御茂子 贈皇太后堀河院女御苺子 各宇治陵と 敦實親王 敦道親王 准三宮後朱雀院女御藤原生子三御墓を以て一兆となす

次の宇治墓へは元へ戻り、京阪電車にて三室堂停留所下車、西南約百五十米位に見ゆる松樹森々たる箇所なり、又奈良街道を南へ黄檗山を参拜して徒歩にて行かれるも可、街道の西側標石ある所参拜道墓前へ

應神天皇々子
荒道稚郎子尊宇治墓

(京都府宇治郡宇治村荒道丸山)

次は京都山科醍醐及京都東南桃山方面へ、或は宇治方面の舊址を探るも可

—— 附近名所 ——

三室堂 黄檗山萬福寺 興聖寺 朝日山 浮島塔 宇治橋 平等院 扇之芝 縣神社

滋賀縣方面

(京都東北、長濱)

参拜順路 此方面へは鐵道は東海道本線大津驛下車、電車は京阪京津線濱大津下車、大津線乗換へ山上驛下車、西街道に出づれば路傍に標石ある所西へ聯隊の北側を行けば道東に曲りすぐ陵前に達す

第三十九代
弘文天皇長等山前陵

(滋賀縣大津市別所字淨慶)

次の息長陵へは、鐵道は大津驛より東海道線經由北陸線長濱下車、汽船は大津乗船場に至り長濱行、下船場は長濱驛南二百米餘、長濱驛前左方の道を東行約百五十米南吳服町通りを北行、町の北端より田園の間を東行二里村居田村、光蓮寺の西背(乗合自動車の便あり)

敏達天皇々后おきのみさき
廣姫息長陵

(滋賀縣坂田郡大原村居田)

—— 附近名所 ——

三井寺 日吉神社 近江八景 伊吹山 姉川古戰場

奈良縣畝傍山方面

(吉野山)

参拜順路

此方面参拜には奈良電車にて神武御陵前驛下車、驛南側の東西の道路を西へ行けば南北の廣街に合す、北へ従つて行けばすぐ神武帝陵、鐵道は畝傍驛下車驛前東西の道路を西へ大軌線路を越えて鐵道のガード下を南西へ堤防の上に昇り橋を渡り西詰を南へ廣い道を下れば東側に綏靖陵あり

第一代 神武天皇うねびのやまのうしほのすみのみま 傍山東北陵

(奈良縣高市郡畝傍町大字洞)

次の桃花鳥田丘上陵へは東北約二丁半餘(三〇〇)陵前南北に通ずる街道を北へ路傍右側

第二代 綏靖天皇つきたのやかのへのみま 桃花鳥田丘上陵

(奈良縣高市郡畝傍町大字四條)

次の畝傍山西南御陰井上陵へは西南約十八丁(二、〇〇〇)陵前南北に通ずる道を少し戻りて神武陵の北邊を西へ小徑に従つて南へ廻れば東西に通ずる道に合す夫より山本大谷の諸邑を

通り吉田に至る路傍西側

第三代 安寧天皇うねびやまのひつじまのみのほとのみのみま 畝傍山西南御陰井上陵

(奈良縣高市郡畝傍町大字吉田)

次の畝傍山南織沙溪上陵へは東南約六丁(七〇〇)陵前の道を南へ約二百米にて、二岐する所東(左)へ阜上に上り南へ廻れば陵の西側に出づ、従つて南へ廻れば陵道あり

第四代 懿德天皇うねびやまのみなみのまさこのたにのへのみま 畝傍山南織沙溪上陵

(奈良縣高市郡畝傍町大字池尻)

次の身狭桃花鳥坂上陵へは南へ約十一丁(二、二〇〇)畝傍山西麓を南へ池尻鳥屋の諸邑を通り鳥屋邑中程東西に通ずる道を西行二百米陵前に達す

第二十八代 宣化天皇うねびのつきのさかのへのみま 同皇后 身狭桃花鳥坂上陵
橘仲姫皇女

(奈良縣高市郡畝傍町大字鳥屋)

(附註)身狭桃花鳥坂墓、陵南五丁餘新澤村にあり崇神天皇々子倭彦命を葬り奉る、日本書紀殉死の説を載する所即ち此御墓を指せるもの

次の劍池島上陵は東北二十四丁(二、七〇〇)元へ戻り烏屋邑北方東西に通ずる廣街を東(右)へ久米寺邑に至り久米寺を塀添に東側へ廻り少し北に入りたる所人家の間東に通ずる小徑あり、従つて東行すれば大軌久米寺驛の西側に出づ、従つて南へ廻り驛南端踏切を東へ丈六村東方三百米にて南に岐れたる道あり右に折れて石川邑に入り中程を東折し阜上池中にあり池の南堤より東に廻れば陵道あり

第八代 孝元天皇 劍池島上陵

(奈良縣高市郡歌傍町大字石川)

次へ參拜の方は壺坂方面へ續く歸りの方は久米寺驛より各自目的地に

—— 附近名所 ——

山 檜原神宮 畝傍山 天の香久山 耳成山 久米寺 川西千塚 烏屋千塚 丸山古墳 洞の丸

奈良縣壺坂吉野方面

(吉野山)

參拜順路 此方面の參拜には大鐵吉野線(奈良電接續)岡寺驛下車、驛前南北に通ずる街道即ち中街道に就而南行約八百米道路の東側に標石をたつる處石階を昇ればすぐ

第二十九代 欽明天皇 檜坂合陵

(奈良縣高市郡阪合村大字平田)

(附註)陵側西南に敏達天皇々孫茅渟王妃吉備姬命檜隈墓あり、皇極帝二年九月薨去遊され此地に奉葬せらる、尙此墓に堀出の山王權現とて、一石二面亦是三面の奇石あり一名猿石と云ふ、元坂合陵の陵側より堀出たる由
次の檜隈大内陵へは坂合陵御拜所南端より南へ田間に出で小徑により陵南を東へ途中鬼の姐鬼の雪隠を究めつゝ全行程約八丁(九〇〇)

第四十代 天武天皇 檜隈大内陵
第四十一代 持統天皇 檜隈大内陵

(奈良縣高市郡高市村大字野口)

次の檜隈安古岡上陵へは陵前を丘下へ下り道を西へ丁字形の處を東南へ平田邑に入り、又丁字形の所を西南へ丘阜昂低す、前陵より總て十二丁半(一、四〇〇)

第四十二代
文武天皇 檜隈安古岡上陵

(奈良縣高市郡飯合村大字栗原)

次の塔尾陵へは西へ陵前を阜下に御園村の學校の北、道丁字形の處を北へ田間を通れば西北に大軌橘寺驛の赤瓦を望む、是れより電車にて吉野山へ終點下車、驛前巡查派出所の前を左へ山路を選ぶか、鋼索鐵道を利用するか何れも前陵より乗物を除き徒歩二十七丁(三、〇〇〇)

第九十六代
後醍醐天皇 塔尾陵

(奈良縣吉野郡吉野町大字吉野山)

世泰親王墓 後龜山天皇々子にまします、陵下域内にあり西面の小圓墳なり

附 近 名 所

橘寺 岡寺 壺坂寺 吉野神宮 如意輪寺 丹生川上神社 吉水神社

奈良縣奈良市方面

(奈良)

参拜順路 此方面は鐵道は奈良驛下車、北端に東西に通ずる街道を東へ、電車は何地共油坂下車驛

出口より南に百米餘にて東西に通ずる街道に合す、此の通を東へ約四丁半(五〇〇)北側

第九代
開化天皇 春日率川坂上陵

(奈良市油坂町字山ノ峯)

次の田原東陵へは東南約二里二十七丁(一、〇〇〇)即ち三條通より日笠に通ふ乗合自動車を利用するを最も便とす、徒歩者は三條通を東へ春日神社二の鳥居より南東へ四百米更に南へ二百米位にて街道に合す、従つて東へ百米餘にて瀧坂妙見の石鳥居を潜り道を右にとりて行くこと三千七百米峠村に達す、途中石切峠あり、標高四百四十九米南に高圓山北に芳山兩山の鞍部にあり本街道の頂なり、峠村の道端瀧不動の標石ある所山間を東南に下り須山此瀬を経て日笠に至る道の左側陵道あり

第四十九代 光仁天皇 田原東陵

(奈良縣添上郡田原村大志日笠)

次の田原西陵へは西南約二十七町(三、〇〇〇)道を西へ此瀬迄戻り、西端より西南に岐れたる小徑に従つて八反田邑の西方に出づれば廣街道に合す、是れ奈良伊賀名張を繋ぐ街道なり従つて西へ八百米路傍北側に陵道あり

天智天皇 春日宮天皇 田原西陵

(奈良縣添上郡田原村大字矢田原)

次の佐保山南陵へは徒歩者は元の石切峠へ夫より奈良市へ、乗合は陵前の街道より奈良市へ奈良公園を北へ東大寺の轉害門の前より西へ約五百米佐保川を渡れば道の北側

第四十五代 聖武天皇 佐保山南陵

(奈良市法蓮町北畑)

次の佐保山東陵へは見張所前を東北へすぐ

聖武天皇 光明子安宿媛 佐保山東陵

(右同所)

次の奈保山西陵へは西北約十六丁(一、八〇〇)陵の西側に陵に従つて北に通ずる小徑あり、北

行すれば程なく舊奈良線の廢線道路に合す、従つて北に行けば隧道を越えた北方にて東西に通ずる道に合す、西(左)へ百米餘北側
(附註)途中隧道の西方約百米餘の山中に聖武天皇天子那富山墓あり、圓墳にして石柵を繞す

第四十四代 元正天皇 奈保山西陵

(奈良市奈良坂町)

次の奈保山東陵へは東約三丁半(四〇〇)陵前の道を東へ行けば道の左側

第四十三代 元明天皇 奈保山東陵

(奈良市奈良坂町)

次の平城坂上陵へは西南二千三百米、奈良電奈良驛へは三千二百米

附近名所

春日神社 東大寺 興福寺 般若寺 奈良公園 正倉院 二月堂 三笠山 猿澤池 春日山
手向山神社 新薬師寺 奈良帝室博物館 南圓堂

奈良縣西大寺方面

(奈良)

(46)

参拜順路 此方面へは鐵道は奈良驛下車、西方約三十二丁(三、五〇〇)電車は大軌(奈良電接續)尼ヶ辻下車、垂仁天皇陵より参拜、或は平城驛下車神功皇后陵より参拜も可、今尼ヶ辻下車、驛北端の東西に通ずる道を西へ二百米陵北邊に達す、夫より周濠の堤を南へ約三百米驛より總て四丁半(五〇〇)

第十一代
垂仁天皇すがはらのふしみのひがしのみささぎ菅原伏見東陵

(奈良縣生駒郡都麻村大字尼ヶ辻)

次の菅原伏見西陵へは元の街道迄戻り、東西に通ずる道二つ並行せる北の方を西へ寶來村に至り夫より西北阜上に前陵より約十五町餘(一、七〇〇)

第二十代
安康天皇すがはらのふしみのにしのみささぎ菅原伏見西陵

(奈良縣生駒郡伏見村大字寶來)

次の狭城盾列池上陵へは東北約一里四町(四、五〇〇)附近菅原神社、一條宮御墓西大寺を参拜

して平城に出づるか、乗物利用なれば尼ヶ辻より平城へ行き驛北端の街道を西北へ行けば道の右側に陵道あり、平城より四百米

仲哀天皇々后
神功皇后さきののたけのみいけのへのみささぎ狭城盾列池上陵

(奈良縣生駒郡平城村大字山陵)

次の狭木寺間陵へは東南七丁(八〇〇)元の街道へ戻り、驛北邊の街道を東南へ山陵邑の北部を東へ出づれば、右手に陵の北端を望む周濠に従つて南に行けば左に狭木寺間陵、右側が狭城盾列池後陵なり、見張所の所を南へ周濠に従つて東に廻る

垂仁天皇々后
日葉酸媛命さきののてらまのみささぎ狭木寺間陵

(奈良縣生駒郡平城村山陵)

次の狭城盾列池後陵へは元へ戻り見張所前を西へ數十歩

第十三代
成務天皇さきののたけのみいけのへのみささぎ狭城盾列池後陵

(奈良縣生駒郡平城村大字山陵)

次の高野陵へは西南三丁(三、五〇〇)陵前を西へ丘下に下ればすぐ左側にあり

第四十八代
稱徳天皇たかねのみささぎ高野陵

(第四十六代孝謙帝重祚)

(奈良縣生駒郡平城村山陵)

(47)

次の楊梅陵へは東々南約九丁(二、〇〇〇)陵直前を南東へ丘麓に小徑あり東に廻り西畑、門外の諸邑を通り公家茶屋に至り路傍北側に參道あり

第五十一代 平城天皇楊梅陵

(奈良縣生駒郡都趾村佐紀)

次の平城坂上陵へは東北約十一丁(二、二〇〇)陵前の道を東へ百米丁字路を北折百五十米にて民居の北端を東へ新道あり陵前に達す

仁徳天皇々后ならのさかのへのみさき 磐之媛命平城坂上陵

(奈良縣生駒郡都趾村大字佐紀)

次は奈良市方面に續く法華寺より乗合自動車の便あり、亦奈良驛は東南三千四百米西大寺驛へは西南三千四百米

—— 附近 名 所 ——

西大寺 菅原神社 平城宮大極殿址 法華寺 不退寺 (在原寺) 大奈閉 小那邊 菅原寺
海龍王寺 楊梅宮址 唐招提寺

奈良縣柳本方面

(奈良、櫻井)

參拜順路

此方面は鐵道關西線奈良驛より櫻井廻り王寺行に乗り(電車利用者も同じ)帶解驛下車或は京終より乗合自動車に乗り帶解に至り驛の東約五百米柴屋邑の東南にて二岐する所左へ廣い道を約八百米夫より北東に向つて約五百米八島村の西南端十字路を東行帶解驛より全行程十六丁(一、八〇〇)

光仁天皇々子やしまのみさき 崇道天皇八島陵

(奈良縣添上郡東市村大字八島)

次の衾田陵へは元へ戻り帶解驛より長柄驛下車或は乗合自動車に乗りて柳本町市場にて下車、驛よりの方は東に行き上街道に出で大和神社に參拜して柳本へ市場の北端東に岐る道の所標石あり阜上老松點々する所を目標に東行長山邑を左に見つ、東北行上街道を離れて十丁(一、一〇〇)

繼體天皇々后 手白香皇女衾田陵

(奈良縣山邊郡朝和村大字中山)

次の山邊道勾岡上陵へは南へ中山邑、上長岡邑を通り田間小徑を南へ行程十四丁半(二、六〇〇)

第十代 崇神天皇山邊道勾岡上陵

(奈良縣磯城郡柳本町大字柳本)

次の山邊道上陵へは南七丁(九〇〇)陵前南北の通路を南へ一直線路の東側

第十二代 景行天皇山邊道上陵

(奈良縣磯城郡柳本町大字澁谷)

(附註)著墓、孝靈天皇々女倭迹々日百襲姫命の御墓にして山邊道上陵の西南二千米路傍西側にあり大神神社の祭神大物主神の妻にして謠曲三輪のシテとして謠わる

—— 附近名所 ——

石上神宮 大和神社 大神神社 天理教會本部 帶解寺 圓照寺等

奈良縣櫻井初瀬方面

(吉野櫻井)

参拜順路 此方面へは鐵道櫻井驛下車、或は大和鐵道、大軌電車各櫻井驛下車町を南へ何れも多武峯街道に出で河西、下等の諸邑を経て倉橋に至る、櫻井より三十一丁(三、五〇〇)路の右側標石ある所右へ

第三十二代 崇峻天皇倉梯岡上陵

(奈良縣磯城郡多武峯村大字倉橋)

次の押坂内陵へは東北約二十二丁半(二、五〇〇)倉橋より山間を東北へ出屋敷を通りて忍坂に至る道、又乗合にて櫻井に戻りて東へ外山を通り細い谷川に沿ひて忍坂に至る二途あり、初拜者には後者を安全とす、外山村の東方丁字形の所を右へ學校の南側を通り行けば路傍左側に標あり、櫻井より東南約二十五丁(二、八〇〇)

第三十四代 舒明天皇押坂内陵

(奈良縣磯城郡城島村大字忍坂)

(附註)押坂墓は藤原鎌足公夫人鏡女王を葬る所押坂内陵の東二百米にあり其東北すぐに押坂内墓あり、欽明天皇々女大伴皇女を葬る所二墓共圓墳にして、前者は談山神社保存會管理に、後者は諸陵寮管理に屬す
次の吉隱陵へは櫻井へ戻り、參宮急行にて榛原驛下車、上街道に従つて西北へ約十八丁(二〇〇)角柄邑の東端路傍北側に標石ある所急坂山上に約七百米と石段二百五十級餘にて陵前に達す

春日宮天皇妃つるはみひめよなほりのみさき
贈皇太后椽姫吉隱陵

(奈良縣磯城郡初瀬町大字角柄)

—— 附近名所 ——

談山神社 長谷寺 鳥見山靈時 鳥見山

奈良縣王寺町方面

(大阪東南部、五條)

參拜順路 此方面の參拜には鐵道關西線(信貴生駒電車)王寺驛下車、驛前東西に通ずる細路あり、鐵道線の北側に沿ふ、従つて東に行けば南北に通ずる街道に合す、是より南へ王寺本町の小學校南端より西南へ細道丘上に通ず路傍右側王寺驛より總て約十八丁(二、〇〇〇)

第七代
孝靈天皇片丘馬坂陵

(奈良縣北葛城郡王寺町大字王寺)

次の武烈陵へは學校前迄元へ戻り、南北に通ずる街道を南へ約三千米(乗合自動車あり)下ノ寺邑の學校の南側の道路を西へ同はづれより南へ今泉邑の南端へ、前陵より至て約一里(四、〇〇〇)

第二十五代
武烈天皇傍丘磐坏丘北陵

(奈良縣北葛城郡志津美村今泉)

次の顯宗陵へは陵前の路を南へ、志津美神社前を通り畑浦邑の南端より、南方田園中に嚴

然と一族の松林を仰ぐは御陵なり、田間に南北に通ずる細路あるを南へ行けば陵の西北端に出づ、前陵より總て約十一丁(二、二〇〇)

第二十三代 顯宗天皇 傍丘磐坏丘南陵

(奈良縣北葛城郡下田村北今市)

次の飯豐天皇陵へは東南約千米の、鐵道と歌山線下田驛より、汽車に乗り大和新庄驛下車西へ約百米十字路に至る、南へ約四百米北花内邑の南より西に通ずる小徑あり、行六百米前陵より鐵道を除きて總て約十九丁(二、二〇〇)

顯中 飯豐天皇 埴口丘陵

(奈良縣北葛城郡新庄町北花内)

時間の餘裕あれば孝昭帝陵へ參拜するも可

—— 附近名所 ——

龍田神社 信貴山 二上山 當麻寺 達磨寺

奈良縣御所町方面

(吉野山、五條)

參拜順路 此方面の參拜には大鐵吉野線壺坂山驛下車、驛の南端より西側に互り直ぐに丘上に通ずる細徑あり、從つて阜上に上下する事約二百米東西に通ずる街道に合す、從つて西へ約五百米森邑中央の丁字路を、北に約五百米驛より總て約十一丁(二、二〇〇)

天武天皇 岡宮天皇 眞弓丘陵

(奈良縣高市郡越智岡村大字森)

次の齊明陵へは前の丁字路迄戻り、夫より西南へ薩摩村に至り西端より西へ取り兵庫邑を通りて車木に至る、同邑の東端人家の間に北東に通ずる細徑あり、從つて行くこと約百米丘下に達す、夫より丘上へ石階數曲折三百餘級前陵より總て約二十七丁(三、〇〇〇)

第三十八代 齊明天皇 越智岡上陵
孝德皇后 間人皇女 越智岡上陵

(第三十五代皇極帝重祚)

(奈良縣高市郡越智岡村車木)

(附註)天智天皇太子建王、齊明帝治四年薨去、今城谷上に殯す後、齊明天皇崩御、尋で間人皇女崩御此地に營陵附葬し奉る、時に齊明帝の遺詔により王子を共に合葬す
次の孝安陵へは陵道を元へ街道に戻り、西北へ車木邑の西北端の橋を渡りて北へ柏原邑を西へ過ぎ、東寺田邑の西端を南へ鐵道線路を越え、之に従つて西へ行けば丁字路あり、南へ民家の間を通すれば陵下に達す、前陵より總て廿三丁半(二、六〇〇)

第六代
孝安天皇玉手丘上陵

(奈良縣南葛城郡掖上村大字玉手)

次の孝昭陵へは全行程約二十丁(二、二〇〇)即ち陵道を元へ戻り、丘下より民居の間を西へ宮山を廻る道に、従つて廻り陵の西北隅より小谷を渡り南に通ずる村道より南行すれば北側に池あり、尙一直線に南へ蛇穴村を過ぎれば廣路に會す、之より北へ葛城川に沿ひて約二百米、端駟橋を渡り更に北へ約二十步是より西南へ約四百米陵下に達す

第五代
孝昭天皇博多山上陵

(奈良縣南葛城郡大正村大字博多山)

時間の都合にて飯豐天皇陵方面へ參拜するも可、歸りの方は南和電鐵、或は省線御所驛へ

東北約十一丁(一、一〇〇)

—— 附近 名 所 ——

白鳥陵 室大墓 嘸間丘 鴨都波神社

大阪府古市方面

(大阪東南部)

(58)

参拜順路 此方面は鐵道關西線柏原驛下車、夫より大鐵に乗換へ道明寺驛下車、驛西方南北に通ずる道路を北へ三百米弱にて東西に通ずる道に合す、従つて西行南北に通ずる街道に合す東高野街道なり、是れを横切りて尙西へ二百米位にて右手に周濠を繞せる山陵の後背を望むは允恭帝陵なり、尙西へ二百米位にて陵西南隅にて道路二岐する所◎北へ二百米道の右側に陵道あり、道明寺驛より總て約十丁(二、二五〇)大阪方面は大鐵高鷲下車、雄畧帝陵より参拜せらるるを便とす

第十九代
允恭天皇 惠我長野北陵

(大阪府南河内郡道明寺村大字園府)

次の仲津山陵へは西南約十丁(二、二〇〇)陵西南端の元の◎辻迄戻り、夫より西へ少し行けば南側に學校あり、その東の岐れ道を南折學校の南を西南へ古室へ行き、西端十字路を南へ大鐵線を越えて二百米道の東側

應神天皇
命仲津山陵

(大阪府南河内郡道明寺村)

次の惠我藻伏崗陵へは西南約五丁餘(六〇〇)陵前を南へ百米果樹園の間を西に通ずる細道あり、従つて西へ山麓を廻れば南北に通ずる小徑に合す、従つて南(左)へ二百米餘にて陵前に達す

第十五代
應神天皇 惠我藻伏崗陵

(大阪府南河内郡古市町豊田)

次の古市高屋丘陵へは南約二十四丁半(二、七〇〇)陵前を東へ四百五十米十字路に達す、是より南へ四百米餘にて廣街道に合す東高野街道なり、従つて南へ古市を過ぎ大鐵線路を越えて行けば道の西側に陵道あり

第二十七代
安閑天皇 古市高屋丘陵

(大阪府南河内郡古市町古市)

次の古市高屋陵へは西南二丁半(三〇〇)陵道に戻り東高野街道を百米程南行道の東側陵道あり

(59)

安閑天皇安閑天皇後
春日山田皇女春日山田皇女古市高屋陵

(大阪府南河内郡古市町古市)

次の河内坂門原陵へは西北約十一丁(二、二五〇)安閑天皇陵道の所迄戻り西方に丘を下る細道あり下りて細流を渡り大鐵の待避線の南を西へ堤防上の道を南へ西浦村北端を西へ行けば稍廣き道に合す従つて北行東側

第二十二代
清寧天皇清寧天皇河内坂門原陵

(大阪府南河内郡西浦村西浦)

(附註)白鳥陵は陵の東北道路右側にあり景行天皇々子日本武尊伊勢能褒野に薨し給ひ御葬送の際白鳥化して當地に飛來せりと傳ふ諸陵寮の管理なり

次の埴生坂本陵へは西北約十三丁半(二、三〇〇)白鳥陵前を北へ輕墓邑の北端にて東西に通ずる廣街に合す竹内街道なり、従つて西北へ行けば東側に陵道あり

第二十四代
仁賢天皇仁賢天皇埴生坂本陵

(大阪府南河内郡藝井寺町野中)

次の惠我長野西陵へは西北約十二丁(二、三〇〇)陵前の竹内街道を西北へ野々上邑東端にて人家の間を北に通ずる道を北行池の堤を廻れば西北々に通ずる道路あり、従つて行けば路傍

東側に陵道あり

第十四代
仲哀天皇仲哀天皇惠我長野西陵

(大阪府南河内郡藝井寺町藝井寺)

次の丹比高鷲原陵へは西北約十九丁(二、二〇〇)陵西の道路を北行西國靈場葛井寺の西側を北へ岡邑の北端小山邑との境に右大阪左堺の標石ある所二岐す、之れ左は堺に通ずる長尾街道なり、従つて西行六百五十米路傍南側

第二十一代
雄略天皇雄略天皇丹比高鷲原陵

(大阪府南河内郡高鷲村南島泉)

次は大阪府南河内の第二に續く何れも高鷲に出て大鐵に依るべし即ち高鷲は陵見張所南方田間に細道あり南行二百米にて道路に合す、従つて南行三百米餘にて高鷲に出づ

—— 附近名所 ——

葛井寺 譽田八幡宮 道明寺 天滿宮 來目皇子墓 城山古墳

大阪府磯長観心寺方面

(大阪府東南部大和五條)

(62)

参拜順路 此方面参拜には鐵道關西本線柏原驛乗換、大鐵にて太子口貴志下車、或は上太子下車、一は東方三十丁(三、三〇〇)敏達帝陵より、一は東南二十三丁半(二、六〇〇)孝德帝陵より今は後者に従ふ、即ち上太子下車、驛前東西に通ずる街道是れ竹内街道にして此街道を東南に春日を通り、山田村大道の東端道稍々峠にかゝる手前の右側に右推古天皇陵、左孝德天皇陵云々の標石ある所東行十數歩道路の北側に陵道あり

第三十六代 孝德天皇 大阪磯長陵

(大阪府南河内郡山田村山田)

次の磯長山田陵へは西南九丁(一、〇〇〇)陵下の岐路を南へ山田村に入り、西南へ四百米餘にて◎廣街南北に通ず、南折二百米餘にて陵道あり

第三十三代 推古天皇 磯長山田陵

(大阪府南河内郡山田村山田)

次の河内磯長原陵へは西北約十一丁(二、二五〇)陵下の道を元へ◎辻より北(直)への山田村より春日に出づれば廣い丁字路あり、西折二百米路傍南側陵道あり南へ約二百米

第三十一代 用明天皇 河内磯長原陵

(大阪府南河内郡磯長村春日)

次の磯長墓へは西北約七丁餘(八〇〇)陵道を元へ戻り、東西に通ずる街道を西(左)へ六百米路傍北側上の太子境内

用明天皇太子 聖德太子 磯長墓

(大阪府南河内郡磯長村太子)

次の河内磯長中尾陵へは西南約十二丁半(一、四〇〇)元の街道へ下りて西(右)へ六百米、細流に架せる橋(太井川橋)の西詰にて、右敏達天皇陵、左聖德太子用明天皇陵の標石ある所街道に岐れて南(左)する道あり、従つて丘上に通ず、行八百米にて陵前に達す

第三十代 敏達天皇 河内磯長中尾陵
敏達天皇皇后 石姫皇女 磯長原陵

(大阪府南河内郡磯長村大字太子)

(63)

次の檜尾陵へは途中電車を除き一里二十丁(六、二〇〇)即ち元へ標石の所より街道に従つて西へ行けば河南橋あり、夫より街道西北に向ふ、従つて大深村に入れば學校の西南隅にて南北の街道に合す、東高野街道なり、横切りて西行四百米太子口貴志驛に達す、夫より大鐵長野線に乗り長野下車、驛前より長野町東方諸越橋を渡り東南に向つて觀心寺門前に至る門を入りて金堂の東、建掛塔の前を過ぎ北側鬱蒼たる森林中に石を疊み階を作りたる陵道あり、二百二十餘級

(64)

第九十八代
後村上天皇檜尾陵

(大阪府南河内郡川上村寺元)

附近名所

叡福寺 觀心寺 瀧谷不動 楠木正成首塚 千早城趾 金剛山 赤坂城趾 金剛寺

大阪府堺淡輪方面

(大阪東南部、岸和田)

參拜順路 此方面は南海鐵道難波驛より南海高野線堺東驛下車、反正帝陵より或は阪和電鐵上野芝より逆にても可、今前者に従ふ、南海高野線堺東驛下車、東口より出で、東行約三丁半(四〇〇)路傍北側

第十八代
反正天皇百舌鳥耳原北陵

(大阪府堺市三國丘町)

次の百舌鳥耳原中陵へは南約二十三丁(二、六〇〇)陵前を東へ初の辻を南へ廻り西に行けば堺中學あり、其西邊を南へ通ずる道あり、南行約四百米にて廣い街道に合す竹内街道なり、少し東南に行けば街道二つに岐る右にとり南海高野線を越せば陵の北背に達す、夫より陵の東側を南行東南隅より西に行けば陵前に達す

第十六代
仁德天皇百舌鳥耳原中陵

(大阪府堺市軸松町)

(65)

第十七代
履中天皇百舌鳥耳原南陵

(大阪府泉北郡神石村上石津)

次の百舌鳥耳原南陵へは乗物なれば陵東三百米に阪和仁徳御陵前驛あり、徒歩は陵前を西行三百米道二岐して南に通ず、従つて東南に千百米位にて阪和鐵道の線に合す、夫より線路の西側西南に通ずる路を行けば阪和上野芝驛北端を西に通ずる道あり、西行三百米北側

乘仁帝皇子
五十瓊敷入彦命宇度墓

(大阪府泉南郡淡輪村大字淡輪)

次へ參拜なれば竈山墓へ、歸りは元の淡輪驛へ

—— 附 近 名 所 ——

大鳥神社 住吉神社 大濱公園 百舌鳥神社 御廟山 大塚 淺香山 山田古墳

山口縣下關市方面

(ナシ)

參拜順路

此方面は安徳帝陵一つ御所在す、鐵道下關驛下車、乗合自動車赤間宮行に乗り、或は長府驛下車、山陽電氣鐵道會社經營の電車に乗り赤間宮前下車すぐ社殿前の石階を上れば中程西側に參道あり

第八十一代
安徳天皇阿彌陀寺陵

(山口縣下關市阿彌陀寺町)

—— 附 近 名 所 ——

赤間宮 春帆樓 忌宮 乃木神社 關門海峽 壇の浦古戰場 早鞆瀬戸

香川縣北部方面

(下津井、丸龜)

參拜順路

此方面へは大阪神戸より大阪商船定期船あり、高松上陸豫讃線坂出驛下車或は汽船にて坂出上陸も可、又鐵道利用者は、山陽線岡山乗換、宇野港より連絡船にて高松上陸、順路前に同じ、或は淡路より撫養上陸、高德線により高松經由坂出下車、乗合自動車にて參拜を便とす

第七十五代 崇徳天皇白峯陵

(香川縣綾歌郡松山村大字青海)

附近名所

金刀毘羅宮 善通寺 高松市 栗林公園 屋島 白峯寺 血の宮

兵庫縣淡路方面

(ナシ)

參拜順路

此方面の參拜には神戸大阪淡輪より洲本へ、或は大阪神戸より福良港へ、大阪商船攝陽商船の定期船あり、上陸後は兩港何れよりも淡路鐵道に乗り八幡下車、東南亦是御陵東驛下車、西南數丁にして陵前に達す、又兩港を連絡する乗合自動車もあり、之によるも可

第四十七代 淳仁天皇淡路陵

(兵庫縣三原郡賀集村賀集)

次の墓へは陵前の廣い街道を東南へ少し行けば、路二岐する所南へ十丁餘にて墓の西側に至る

淳仁天皇御母やましらのあわじのはか 太夫人山背淡路墓

(兵庫縣三原郡賀集村賀集)

次は鳴門海峡を便船にて撫養に渡り、觀潮を兼ね白峯陵へ參拜も可

—— 附近名所 ——
鳴門觀潮 自凝島神社 丘の松 福良 洲本 伊弉諾神社 五色濱

東京府淺川方面

(八王子)

参拜順路 此方面参拜には鐵道中央線淺川驛下車、乗合自動車にて陵道前迄、亦京王電車なれば御陵前下車西方すぐ

第百二十三代 たまのみささぎ
大正天皇多摩陵

(東京府南多摩郡横山村大字下長房)

—— 附近名所 ——
十里古戰場 高乗寺 高雄山藥王院 東郷元帥墓

高野山五條方面

(高野山)

参拜順路

此方面へは鐵道和歌山線五條驛下車、道を西南にとり吉野川に架する大川橋を渡り野原邑に行けば御靈神社の手前にて道二岐し一は西に通ず、之れに従つて行けば約百米にて丹生川あり、橋を渡り御山邑に至り同邑西端二岐する道を西南へ丘阜の間を行けば路傍西側、五條驛を去る西南三十二丁(三、五〇〇)

光仁天皇々后
井上内親王宇智陵

(奈良縣宇智郡南宇智村御山)

次の高野山陵へは元へ戻り、同鐵道にて橋本驛下車、南海高野線に乗換へ極樂橋よりケールにて高野山下車、女人堂に出で廣街を千壽院橋に至り、夫より東へ小田原を通り蓮華谷に至る、路傍南側不動院入口の標石ある所南へ約百米東側

鳥羽天皇々后
美福門院得子高野山陵

(和歌山縣伊都郡高野町高野山)

附近名所

御靈神社 賀名生皇居址 天皇々族齒髮爪塔 道明親王墓 覺法親王墓 英照皇太后髮塔
金剛峯寺 奥の院 金堂 九度山 慈尊院 丹生都比賣神社

三重縣能褒野方面

(龜山)

參拜順路 此方面へは鐵道關西本線龜山驛下車、乗合自動車にて約一里十八丁(六、〇〇〇)或は井田川驛下車徒歩も可

景行天皇^{天孫}の^孫能褒野墓

(三重縣鈴鹿郡川崎村大字田村)

兵庫縣加古川方面

(高砂)

參拜順路 此方面は鐵道山陽線加古川驛下車、播丹線に乗換日岡驛下車、驛前道路西行百歩許大野邑に入り民居の間北行百米餘日岡神社あり、門内行百米社殿前右側に日岡陵兆域の標石ある所丘上に三百米

景行天皇^{天孫}の^孫能褒野墓

(兵庫縣加古郡水丘村大字大野)

附 近 名 所
日岡神社 高砂之松 曾根の松 石寶殿

鹿兒島縣南部三陵方面

(川内 鹿屋 城元 加治木)

参拜順路 此方面三陵は遠方の事に付一時に参拜するを便なりとす、先づ鹿兒島本線に乗り上川内驛に下車、南方約八町(九〇〇)高さ約一〇〇米の丘上にあり往復約一時間を要す、尙上川内驛川内驛間は乗合自動車の便あり、可愛山陵の麓約二町の所に駐車すれば都合に依り川内驛に下車するも可

瓊瓊杵尊可愛山陵

(鹿兒島縣薩摩郡東水引村大字宮内)

次の吾平山上陵へは矢張前記便利な驛より汽車にて鹿兒島驛に下車し鹿兒島港より乗船し大隅の垂水港上陸(渡航時間約一時間)夫より吾平山上陵行の直通乗合自動車あり、距離約十一里、所要時間一時間四五十分なり
本山陵参拜には鹿兒島市より往復一日を要すればなるべく鹿兒島港を午前八時出港の船に乗船するを便とす

鸕鷀草葺不合尊日向吾平山上陵

(鹿兒島縣肝屬郡始良村大字上名)

次の高屋山上陵へは鹿兒島市へ戻り肥薩線嘉例川驛下車西北約一里十二町(五、四〇〇)道路は上等なるも稍上りにして車馬及自動車の便全くなきを以て往復約二時間半乃至三時間を見込置くべきなり

彦火火出見尊日向高屋山上陵

(鹿兒島縣姶良郡清邊村大字麓)

参拜には九州西海岸鹿兒島本線を選びたれば、歸路は日豊本線へと廻り、九州一圓、我建國歴史の發祥地及古蹟を或は諸神社等参拜するを可とす、尙御印御希望にして守部さんの不在の場合は其陵より最も近き人家或は社等にて聞かれるを便とす

第九十八代 長慶天皇陵

(御陵地未だ御治定なし)

鹿兒島方面三陵に關する項は市内伏見區桃山町敬禮寺信三氏の御教示にて修補を加ふ茲に謹んで敬意を表す

露光量違いの為重複撮影

皇陵謹拜記念譜
 参陵
 御陵謹拜帖
 神社参拜譜
 大社めぐり
 皇后陵巡拜譜

特約頒布所

昭和九年三月二十八日印
 昭和九年四月三日發行
 昭和十年三月十日再發行
 昭和十年八月一日三版

不許
 複製

京都府下京區隔々井通花屋町上ル元日町
 南野正一
 京都府下京區北小橋通町西入
 須藤勲具齋
 京都府下京區西陣區七橋東入
 内外出版印刷株式會社

發行所
 京都府下京區隔々井通花屋町上ル元日町
 参陵獎勵會
 電話(五三三)六三七七番

【定價參拾錢】

露光量違いの為重複撮影

皇 陵 謹 拜 記 念 譜
 参 陵 錄
 御 陵 謹 拜 帖
 神 社 参 拜 譜
 大 社 め ぐ り
 皇 后 陵 巡 拜 譜

特 約 頒 布 所

昭和九年三月二十八日印刷
 昭和九年四月三日發行
 昭和十年三月十日終補再版
 昭和十年八月一日三版

【定價參拾錢】

不 許
 複 製

編輯者 京都市下京區醜ヶ井通花屋町上ル元日町 南 野 正 一
 發行所 京都市下京區北小路通新町西入 須 磨 勘 兵 衛
 印刷所 京都市下京區西洞院通七條南入 内外出版印刷株式會社

發行所 京都市下京區醜ヶ井通花屋町上ル元日町

參 陵 獎 勵 會

電話下⑥ 五三一三番
 六三七七番

終

參陵

參陵獎勵會發售

